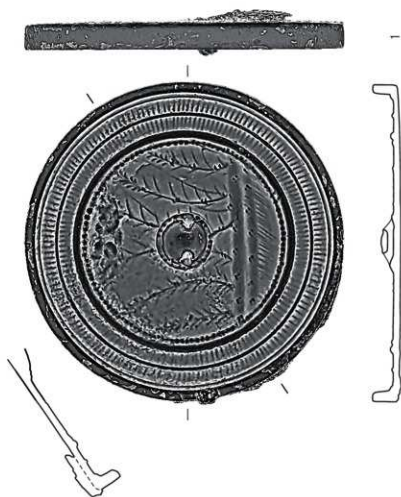


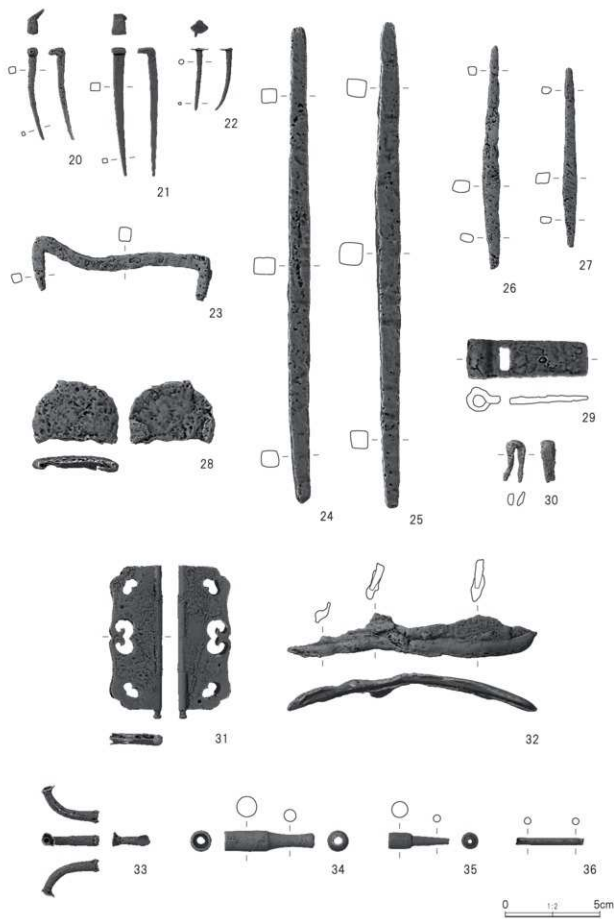


0 1.1 3cm

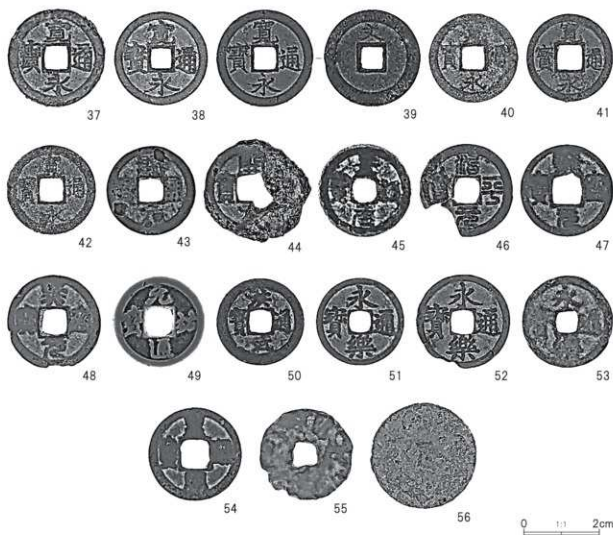
図 V-4 鏡



圖V-5 金屬製品 (1)



図V-6 金属製品 (2)



図V-7 貨幣

表V-7 出土金属一覧

分類		和釘	洋釘	鏡	鉄鍋	鉤	鋸	寛永通寶	中国銭	その他銭	煙管	螺番	飾金具	銅線	素材鉄	その他・不明	計
遺構	石垣1	25	1	0	0	0	0	2	0	0	3	1	0	0	0	1	33
	土坑1	306	0	0	2	1	2	2	0	3	2	0	1	22	0	11	352
	土坑2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	土坑3	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	土坑17	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	溝1	55	0	0	0	0	0	4	0	6	0	0	1	0	0	9	75
	人骨1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
包含層	Ⅱ	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	2	8
	Ⅲ	10	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	14
	Ⅳ	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	Ⅴ	4	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0	0	0	4	4	24
計		414	1	1	5	1	2	15	11	9	6	1	4	22	4	29	525

表 V-8 掲載金属製品一覧

挿図 番号	図版	遺物名	素材	地区地番 /遺構等	遺物 番号	階位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
V-4	1	16 胡麻図双雀籠	非鉄	力17/土坑3	35	覆土2	8.4	8.4	0.7	340.0	14世紀第1～第2四半期
V-5	2	16 鉄銅片	鉄	力17/土坑1	14A	覆土	7.5	5.7	4.5	49.8	重機取上 口縁部
V-5	3	16 燭台	鉄	力17W	44	IV	5.2	10.8	2.3	36.3	
V-5	4	16 駒	鉄	力17/土坑1	32E	覆土	6.1	4.1	0.7	13.4	先端なし 釘の可能性あり
V-5	5	16 鎌? 穂摘具?	鉄	力17C	65	V	2.0	6.3	1.4	8.6	
V-5	6	16 和釘	鉄	力17/石垣1	27B	裏込覆土	3.8	0.9	0.5	1.8	頭巻釘M3
V-5	7	16 和釘	鉄	力17/土坑1	14C-3	覆土	4.3	0.7	0.5	2.0	重機 頭巻釘M2
V-5	8	16 和釘	鉄	力17W/溝1	2	覆土	7.2	2.7	3.4	11.8	再利用? 頭巻釘M3
V-5	9	16 和釘	鉄	力17/土坑1	14C-2	覆土	6.7	6.2	1.3	18.4	重機 再利用? 頭巻釘M3
V-5	10	16 和釘	鉄	力17/土坑1	14C-1	覆土	11.0	1.6	0.9	16.0	重機 頭巻釘M2
V-5	11	16 和釘	鉄	力17C	66A	III	6.7	2.7	1.3	12.4	火災面2より上 舟釘 平折 木質残存
V-5	12	16 和釘	鉄	力17/土坑2	38	覆土	5.9	2.2	1.1	11.3	舟釘 平折 先端欠損
V-5	13	16 和釘	鉄	力17C	66B	III	5.4	2.1	1.7	21.3	火災面2より上 舟釘 平折
V-5	14	16 和釘	鉄	力17/土坑1	14C-4	覆土	7.0	1.5	1.2	15.0	重機 舟釘 平折
V-5	15	16 和釘	鉄	力17/土坑1	14B	覆土	7.2	1.8	1.5	27.0	重機 舟釘 折釘
V-5	16	16 和釘	鉄	力17/土坑1	33C	覆土	7.9	1.7	1.4	18.5	舟釘 折釘
V-5	17	16 和釘	鉄	力17W/溝1	7B	覆土	9.6	2.8	1.1	34.9	舟釘 頭巻釘M2
V-5	18	16 和釘	鉄	力17/土坑1	18A	覆土	8.2	2.2	1.7	77.5	舟釘 折釘 先端欠損
V-5	19	17 和釘	鉄	力17/土坑3	42	坑底	17.7	7.0	3.6	187.0	舟釘 頭巻釘M2 木質残存(ヒノキ亜科)
V-6	20	17 和釘	非鉄	力17/土坑1	14D	覆土	4.9	0.9	1.4	3.5	重機 銅 平折
V-6	21	17 和釘	非鉄	力17/石垣1	29B	裏込覆土	6.8	0.8	1.1	9.7	銅 平折
V-6	22	17 鉄	非鉄	力17/土坑1	33A	覆土	3.3	0.9	0.9	1.1	銅 頭部加工か?
V-6	23	17 鉄	鉄	力17/土坑1	25C	覆土	3.4	9.5	0.8	23.8	角縁
V-6	24	17 素材鉄	鉄	力17C	61A-1	V	25.2	1.2	0.9	96.5	
V-6	25	17 素材鉄	鉄	力17C	61A-2	V	25.7	1.4	1.2	138.2	
V-6	26	17 素材鉄	鉄	力17C	61B-2	V	11.8	0.9	0.6	11.6	断面やや長方形
V-6	27	17 素材鉄	鉄	力17C	61B-1	V	9.5	0.8	0.6	6.5	
V-6	28	17 不明	鉄	力17/土坑1	32H	覆土	3.4	4.5	0.9	16.2	飾金具か?
V-6	29	17 不明	鉄	力17W/石垣1	5A	裏込	2.1	6.4	1.3	24.5	鎌?
V-6	30	17 不明	鉄	力17W/溝1	7A	覆土	2.3	1.2	0.8	1.3	掛鉄?
V-6	31	17 螺番	非鉄	力17W/石垣1	29A	裏込覆土	8.1	2.8	0.4	21.6	面残存、軸は4分の3残存
V-6	32	17 不明	鉄+非鉄	力17C	62B	V	2.4	13.2	2.0	43.9	鉄の本体に銅の線がつけられる
V-6	33	17 脂返し	非鉄	力17/石垣1	27A	裏込覆土	0.8	3.1	2.0	2.2	補強帯なし 古原分類 I 類Bか?
V-6	34	17 吸口	非鉄	力17/土坑1	28	覆土 (西側上部)	1.1	4.7	1.1	9.8	古原分類 I 類
V-6	35	17 吸口	非鉄	力17/土坑1	28A	覆土 (西側上部)	0.8	3.2	0.8	2.7	古原分類 I 類
V-6	36	17 吸口	非鉄	力17C	55	III	3.6	0.4	0.4	0.7	古原分類 I 類か?

表V-9 掲載貨幣一覧

種別	掲載 番号	図版	遺物名	素材	地区地番・遺構等	遺物番号	層位	外径径		内径径		厚さ		重量	備 考
								外径	内径	外径	内径	外縁厚	文字面厚		
V-7	37	18	寛永通寶(古)非鉄	力17C	力17C/土坑3	41	覆土I	2.56	1.94	0.79	0.61	0.15	0.08	3.3	被熱?ス質
V-7	38	18	寛永通寶(古)非鉄	力17C	力17C	46	II	2.44	2.04	0.76	0.54	0.12	0.10	3.1	力17C-土坑 ス質
V-7	39	18	寛永通寶(古)非鉄	力17C	力17C	66C	III	2.52	2.04	0.70	0.57	0.13	0.05	3.5	火災面より上
V-7	40	18	寛永通寶(新)非鉄	力17C	力17C	32A	II	2.35	1.88	0.80	0.59	0.12	0.10	2.8	文銭
V-7	41	18	寛永通寶(新)非鉄	力17C	力17C/土坑3	37	覆土I	2.31	1.86	1.87	0.65	0.12	0.08	2.4	被熱?
V-7	42	18	寛永通寶(新)非鉄	力17C	力17C/溝1	12A	覆土	2.35	1.89	0.78	0.62	0.12	0.06	2.3	
V-7	43	18	開元通寶	非鉄	力17C	61C-2	V	2.35	1.89	0.74	0.62	0.10	0.07	2.7	摩滅 被熱
V-7	44	18	開元通寶	非鉄	力17C	61C-1	V	(2.61)	(2.00)	(0.76)	(0.69)	(0.12)	(0.08)	3.0	被熱による著しい変形あり
V-7	45	18	天聖元寶	非鉄	力17C	59A	V	2.45	2.01	0.83	0.60	0.10	0.08	3.0	摩滅
V-7	46	18	治平通寶	非鉄	力17C	61D	V	2.47	2.01	0.78	0.67	0.11	0.06	(2.4)	被熱?
V-7	47	18	熙寧元寶	非鉄	力17C	61E	V	2.43	2.14	0.90	0.74	0.11	0.05	3.2	
V-7	48	18	熙寧元寶	非鉄	力17C	60	V	2.47	2.07	0.83	0.66	0.11	0.09	2.2	
V-7	49	18	元祐通寶	非鉄	力17C	64	V	2.44	2.03	0.79	0.69	0.12	0.07	3.2	
V-7	50	18	崇寧通寶	非鉄	力17C	58A	V	2.30	1.75	0.75	0.60	0.17	0.10	3.9	
V-7	51	18	永樂通寶	非鉄	力17E	53	III	2.31	2.03	0.70	0.57	0.10	0.08	2.1	
V-7	52	18	永樂通寶	非鉄	力17E/人骨1	54		2.49	2.12	0.78	0.61	0.12	0.08	(2.2)	上半身より南側
V-7	53	18	永樂通寶	非鉄	力17C	58B	V	2.41	2.01	0.79	0.55	0.12	0.08	2.9	
V-7	54	18	不明銭	非鉄	力17C	61F	V	2.46	2.02	0.93	0.74	0.09	0.05	2.7	摩滅著しく版不明 寛永通寶ではない
V-7	55	18	鉄銭	鉄	力17W/溝1	11	覆土	2.44			0.61	0.25		(2.2)	四角穿
V-7	56	18	電一銭銅貨	非鉄	力17W/溝1	3A	覆土	2.80				0.16		5.3	腐食著しい

※銭の計測値は「福山城下町遺跡(2)」（北遺跡線377）の図V-34「銭計測位置」による。

4 石器・石製品 (図V-8、表V-10・11、図版19)

硯、砥石、火打石、円礫、緑石、URフレイクなど計41点出土し、うち6点を掲載した。掲載5、6の火打石は写真のみの掲載である。1、2、4は土坑1、3は溝1から出土している。

1～3は硯である。1は墨堂の一部の破片で、落潮（波止）部分がやや残る。残存する硯縁は、幅3mm、高さ3mmである。硯背面は剥離している。被熱してやや赤変している。石材は泥岩と思われる。2は硯背面の破片である。硯表側は剥離し失われている。硯背に「勇助」の刻字がみられ、他にも文字のような傷が確認できる（図・拡大白黒半転写真）。石材は片岩と思われる。3は墨堂部分の破片で、若干落潮部が残る。硯縁は剥離、摩滅して失われている。薄くはがれた破片3枚が接合しており、石材は片岩と思われる。4は砥石である。表裏両面と側面が滑らかになっている。厚さは1cm。石材は砂岩である。5、6は火打石である。加工痕はなく、部分的に原石面が残る。石材はメノウで、このような火打石片は計28点出土している。

(新家)

表V-10 出土石器・石製品一覧

分類		硯	砥石	火打石	緑石	UR フレイク	計
出土地点							
遺構	土坑1	4	1				5
	土坑2				1		1
	土坑14			1			1
	溝1	3		1		1	5
	石垣1		1	1			2
	石垣1北			2			2
遺構 計		7	2	5	1	1	16

分類		砥石	火打石	円礫	計
出土地点					
包含層	II		5		5
	III		11		11
	IV		4		4
	V	1	3		4
	不明			1	1
包含層 計		1	23	1	25

表V-11 掲載石製品一覧

掲載 No.	図 No.	図版 No.	地 番	地区	遺構名	層位	分類	材質	点 数	計測値(cm, g)				取上げ日	備 考
										長さ	幅	厚さ	重量		
1	V-8	19	17		土坑1	覆土	硯	泥岩	3	(8.0)	(3.4)	(0.8)	18.3	2024/11/13	
2	V-8	19	17		土坑1	覆土	硯	片岩	1	(7.0)	(4.4)	(1.0)	49.4	2024/10/28	「勇助」刻文字あり
3	V-8	19	17	W	溝1	覆土	硯	片岩	3	(10.9)	(3.9)	(0.9)	44.0	2024/10/24	
4	V-8	19	17		土坑1	覆土	砥石	砂岩	1	(6.0)	7.2	1.0	72.8	2024/11/6	
5	—	19	17		土坑14	覆土	火打石	メノウ	1	4.2	4.6	3.7	78.2	2024/11/27	
6	—	19	17	W		V	火打石	メノウ	1	7.8	6.4	5.5	277.9	2024/11/14	B-Tmより上

5 骨角貝製品と動物遺存体 (図V-8、表V-12～14、図版4、図版19、20)

(1) 骨角貝製品

5点掲載した。1、2はハマグリ製碁石。土坑1、土坑2から各1点出土した。直径約2cmで、厚さは土坑2出土品が4.8mm、土坑1出土品が3.6mmである。土坑2出土品は断面紡錘形で、表面にハマグリの成長線がよく顕れる。一方、土坑1出土品は断面扁平で表面の成長線も不明瞭であり、稚拙なつくりである。3はⅢ層から出土した、一面を平坦に面取りした骨製品である。焼けており、断

片となっているため、元の状態は全く不明である。素材も不明。4はクジラ骨製中柄である。包含層Ⅴ層から出土した。上半部と基部端を欠く。断面楕円形で、体部と茎部の境界は不明瞭。全体に削りによる稜線が残る。5はⅤ層出土人骨1の正面右肩下から出土した円環。骨細胞からは牛か馬骨製とみられる。環内面はシャープで内外面とはほぼ90度の角となる。環外面は滑らかで丸みを持たせており、装飾的意図がみられる。したがって環の断面形は外側が丸いD字形となる。出土位置と形態からは種子輪との関わりを想定したが、実際は不明である。

(2) 動物遺存体

動物遺存体の総数は96点、腹足綱36点、二枚貝綱41点、六幼生綱1点、ウニ綱1点、硬骨魚綱1点、鳥綱3点、哺乳綱13点からなる。いずれも任意採取資料なので、資料評価に限界がある。各層の時代は、Ⅰ・Ⅱ層：近現代造成土層、Ⅲ層：近世（17世紀初頭以降）、Ⅳ層：中世末～近世初頭（16世紀末～17世紀初頭）、Ⅴ層：中世～近世初頭（14～17世紀初頭、B～Tm層より上位）。遺構は、土坑1（19世紀後半頃）、2（18～19世紀）、3（18世紀頃）、18（18～19世紀）、19・20（17世紀頃）、石垣1（19世紀後半以降）がある。

(3) 貝類

貝類には摩耗したものがあり、波による打ち寄せ貝も含まれる。

腹足類のうち、エゾアワビは土坑1～3から検出された。土坑1は11点5個体が確認された。四角いヤス痕を残すものが2点あり、一個のものと、二個のものがあるが、刺さり方によるとみられ、二本以上のヤスが用いられたとみられる。大きさは殻幅で6cm前後3個、5cm前後1個、4cm前後1個、7cm前後1個とばらつきがある。殻幅6cmで殻長8.6cmとなり、大きいほうとみられる。殻幅7cm前後は概ね極限殻長とみられる（宮本直樹2004「北海道のアワビの大きさ」『北水試だより』65）。土坑2、土坑3は破片のため、状況は不明である。ほかに土坑1からユキノカサ3点（1点摩耗）、サザエ1点（蓋破片）、土坑2からイボキサゴ1点（摩耗した螺頭破片）、ユキノカサ1点（摩耗した殻頂先端の破片）、土坑20からエゾアワビ破片、Ⅱ層からサザエ1点（蓋破片）、Ⅲ層から巻貝片2点、Ⅴ層からユキノカサ1点が出土しているが利用状況を示すとは言い難い。

二枚貝のうち、ハマグリは土坑1からL6点、R1点出土している。概して小型で、破損しており、焼けたとみられるもの1点、摩耗するもの1点含む。前回は殻長31.7mm、殻高27mmの小型で合併のものがみられ、混獲されたと考えるが、前浜に生息しているものでもなく、解釈が難しい。土坑2からは破片1点が出土している。ホタテは破片が土坑1と包含層から破片が出土している。摩耗するもの、細かな破片になっているものがあり、利用した可能性は低い。シラトリガイモドキは、それぞれ大きさが異なるL2点、R1点が土坑1から出土。殻長4cm以下と小さい。摩耗していないが、打上貝かもしれない。イガイは土坑1・土坑3から各1点。ヤマトシジミ・トマヤガイ？は土坑1から各1点あるだけ。エゾタマガイ・カモガイは土坑3から各1点出土するも打上貝とみられる。

(4) フジツボ類

土坑2からフジツボ類周殻破片1点が出土している。

(5) ウニ類

土坑1からウニ類殻骨板破片1点が出土している。

(6) 魚類

包含層Ⅴ層からマダイ歯骨1点が出土している。破損しているが、かなり大きなものである。

(7) 鳥類

同定できたのは土坑1から出土したカモ類の可能性のある脛足根骨R1点があるが、状態から極め

表 V-12 出土動物遺存体種名一覧

出土種名一覧

軟体動物門 Mollusca

腹足綱 Gastropoda

カサガイ目 Nacellidae

ユキノカサガイ科 Acmaeidae

ユキノカサガイ *Acmaea pallida*

カモガイ *Collisella dorsuosa*

原始腹足目 Archaeogastropoda

ミミガイ科 Haliotidae

エゾアワビ *Haliotis discus hannai*

ニシキウズガイ科 Trochidae

イボキサゴ *Umbonium moniliferum*

古腹足目 Vetigastropoda

リュウテン科 Turbrinidae

サザエ *Turbo sazae*

二枚貝綱 Bivalvia

イガイ目 Mytilida

イガイ科 Mytilidae

イガイ *Mytilus coruscus*

フネガイ目 Arcoida

タマキガイ科 Glycymerididae

エゾタマキガイ *Glycymeris yessoensis*

イタヤガイ目 Pectinoida

イタヤダイ科 Pectinidae

ホタテガイ *Mizuhopecten yessoensis*

トマヤガイ目 Carditida

トマヤガイ科 Carditidae

トマヤガイ? *Cardita leana?*

マルスダレガイ目 Veneroida

ニッコウガイ科 Tellinidae

シラトリガイモドキ *Heteromacoma irus*

マルスダレガイ科 Veneridae

ハマグリ *Meretrix lusoria*

シジミ科 Corbiculidae

ヤマトシジミ *Corbicula japonica*

節足動物門 Arthropoda

六幼生綱 Hexanauplia

無柄目 Sessilia

アジツボ科 Balanidae

属・種不明

棘皮動物門 Echinodermata

ウニ綱 Echinoidae

ホンウニ目 Echinina

科・属・種不明

脊椎動物門 Chordata

硬骨魚綱 Osteichthyes

スズキ目 Perciformes

タイ科 Sparidae

マダイ *Pagrus major*

鳥綱 Aves

カモ目 Anseriformes

カモ科 Anatidae

属・種不明

哺乳綱 Mammalia

ネズミ目 Rodentia

ネズミ科 Muridae

ドブネズミ *Rattus norvegicus*

鯨偶蹄目 Cetartiodactyla

シカ科 Cervidae

エゾシカ *Cervus nippon yessoensis*

クジラ類の一種 *Cetacea sp.*

食肉目 Carnivora

イヌ科 Canidae

イヌ *Canis lupus familiaris*

ネコ科 Felidae

ネコ *Felis silvestris catus*

表V-13 動物遺存体同定結果一覧

動物 番号	遺体名	調査区	種別	品 目	年代	種	種名	原 産 地	主 産 地	長 尺 寸	重 量	材 質	文 字	印 記	通 信 機	打 撃 機	解 凍 機	保 存 機	備考	加 注 記	備 考			
21	土913	お17	藤土	1	20241105	鑑定	ユキノカサ	長野	長野	完全											縦長3.8cm、横長1.8cm			
22	土913	お17	藤土	1	20241112	鑑定	ユキノカサ	長野	長野	完全											縦長3.3cm、横長1.5cm			
23	土913	お17	藤土	1	20241113	鑑定	ユキノカサ	長野	長野	完全											縦長2.9cm、横長1.2cm			
33	土912	お17	藤土	1	20241119	鑑定	ユキノカサ	長野	長野	破片											摩耗			
56	古倉庫	お17C	V	1	20241212	鑑定	ユキノカサ	長野	長野	破片														
45	土913	お17	藤土	1	20241118	鑑定	カモガイ	長野	長野	破片											摩耗			
6	土913	お17	藤土	1	20241106	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	完全											ヤス腹2点(長8.7mm、も う一つは不明瞭)	縦長6.6cm、横長1.6cm	写真	
7	土913	お17	藤土	1	20241106	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片												縦長5.8cm		
8	土913	お17	藤土	1	20241106	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片												ヤス腹1点(長7.3mm)	縦長5.4cm 横6.0cm代より小さく、4 mm代より大きい	写真
19	土913	お17	藤土	1	20241106	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	ほぼ完全													縦長4.1cm	
10	土913	お17	藤土	1	20241106	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片													縦長5cm	
11	土913	お17	藤土	1	20241112	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片													縦長5cmより大型	
12	土913	お17	藤土	4	20241112	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片														
13	土913	お17	藤土	1	20241118	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片														
20	土912	お17	藤土	12	20241119	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片														
62	土9120	お17	藤土	1	20241205	鑑定	エゾアワビ	長野	長野	破片														
32	土912	お17	藤土	1	20241119	鑑定	イボキサゴ	長野	長野	破片														
29	土913	お17	藤土	1	20241026	鑑定	サザエ	長野	長野	破片														
30	古倉庫	お17	II	1	20241106	鑑定	サザエ	長野	長野	破片														
65	古倉庫	お17C	II	2	20241122	鑑定	不明	長野	長野	破片														
39	土913	お17	藤土	1	20241112	鑑定	不明	長野	長野	破片													摩耗	
40	土912	お17	藤土	1	20241119	鑑定	不明	長野	長野	破片														
28	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	イガイ	長野	長野	破片														
44	土913	お17	藤土	1	20241118	二枚貝	イガイ	長野	長野	破片														
31	土913	お17	藤土	1	20241118	二枚貝	エゾタマギイ	長野	長野	破片													小型	
24	土913	お17	藤土	1	20241106	二枚貝	カタギイ	長野	長野	破片													小型	
25	土913	お17	藤土	4	20241112	二枚貝	カタギイ	長野	長野	破片														
26	土913	お17	藤土	2	20241106	二枚貝	カタギイ	長野	長野	破片														
67	古倉庫	お17C	II	1	20241118	二枚貝	カタギイ	長野	長野	破片													摩耗	
1	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	トマヤガイ?	長野	長野	完全														
2	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	シトロリガイモドキ	長野	長野	完全														
3	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	シトロリガイモドキ	長野	長野	完全														
4	古倉庫	お17W	II	1	20241112	二枚貝	シトロリガイモドキ	長野	長野	完全														
5	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	シトロリガイモドキ	長野	長野	破片														
14	土913	お17	藤土	2	20241113	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
15	土913	お17	藤土	1	20241113	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
16	土913	お17	藤土	3	20241113	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
17	土913	お17	藤土	1	20241106	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
18	土913	お17	藤土	2	20241106	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
19	土913	お17	藤土	1	20241106	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
20	土913	お17	藤土	2	20241106	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
34	土912	お17	藤土	1	20241119	二枚貝	ハマグリ	長野	長野	破片														
27	土913	お17	藤土	1	20241112	二枚貝	ヤマトシジミ	長野	長野	完全														
36	土913	お17	藤土	3	20241118	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
37	土913	お17	藤土	1	20241106	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
38	土913	お17	藤土	2	20241112	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
43	土912	お17	藤土	1	20241119	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
61	古倉庫	お17E	II	3	20241202	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
66	古倉庫	お17C	II	1	20241119	二枚貝	不明	長野	長野	破片														
41	土912	お17	藤土	1	20241113	六枚貝	フジツツの類	長野	長野	破片													摩耗	
42	土913	お17	藤土	1	20241119	ウニ	ウニ類	長野	長野	破片													アカフジツツ?	
64	古倉庫	お17C	V	1	20241126	魚類	マダイ	長野	長野	破片													〇	
51	土913	お17	藤土	1	20241112	鳥	カササギ	長野	長野	破片														
52	土913	お17	藤土	1	20241107	鳥	不明	長野	長野	破片														
53	土913	お17	藤土	1	20241127	鳥	不明	長野	長野	破片														
47	土913	お17	藤土	1	20241106	哺乳	ゾウゾウミ	長野	長野	破片													〇	
46	土912	お17	藤土	1	20241203	哺乳	エゾシカ	長野	長野	破片														
68	古倉庫	お17E	II	1	20241203	哺乳	クジラ類	長野	長野	破片													摩耗	
57	古倉庫	お17E	IV	1	20241211	哺乳	イヌ	長野	長野	破片													〇	
48	土913	お17 藤土 摩耗	1	20241028	哺乳	ネコ	下駄巻	長野	長野	破片													高直し、やや摩耗	
58	古倉庫	お17C	V	1	20241211	哺乳	ネコ	下駄巻	長野	破片													M10	
49	土913	お17	藤土	1	20241030	哺乳	ネコ	下駄巻	長野	完全													極めて新しい	
50	土913	お17	藤土	1	20241106	哺乳	ネコ	下駄巻	長野	破片													極めて新しい	
54	土913	お17	藤土	1	20241210	哺乳	狼	不明	長野	破片													壁から出土	
55	土9120	お17	藤土	1	20241205	哺乳	狼	不明	長野	破片													〇	
60	土9119	お17	藤土	1	20241205	哺乳	狼	不明	長野	破片													〇	
63	古倉庫	お17E	II	1	20241202	哺乳	狼	不明	長野	破片													極めて新しい	
59	古倉庫	お17E	IV	1	20241206	哺乳	狼	不明	長野	破片													磨耗	

て新しいものとみられる。ほか、石垣1と土坑3から種不明の長骨破片が各1点出土している。数も少なく断片的で、解釈困難である。

(8) 哺乳類

同定できたのは土坑1から出土したドブネズミ脛骨・腓骨L1点、ネコ下顎骨R(摩耗)1点、ネコ中足骨R1点、寛骨R1点、土坑2から出土したエゾシカ肋骨片1点、包含層Ⅳ層出土のイヌ中手骨、包含層Ⅴ層から出土したネコ下顎骨破片、Ⅴ層から出土した大型クジラ類頭骨片。数も少なく断片的で、解釈困難である。土坑1出土ネコは状態から極めて新しいものとみられる。

今回得られた動物遺存体は、新しいものが多く、また極めて断片的であることから、考察に至るものではなかった。また、摩耗するものを含み、遺存結果が自然か人為か判断できないものもある。ただ、これまで福山城下町遺跡の調査によって得られた動物遺存体は、近現代、近世(17世紀初頭以降)、中世(16世紀代、15～16世紀、B-Tm層より上位)、捺文文化以前(縄文土器も含む)に及び、同一地域における生物利用の変遷を知ることができる重要な資料となってきた。ただし、地点による差が大きいとみられ、今後の追求すべき課題(植月2018)として強調される。

ちなみに福山城跡からは骨類の出土を見ないという。地元の方によると、ゴミは海に廃棄したために残っていないのではないかと聞かされた。なるほどとは思うものの、城下町ではそれなりに貝・骨類が出土することから、また別な原因があるのかもしれない。こちらも今後の課題である。

(福井)

6 ガラス玉・ガラス製品(図V-8、表V-15、口絵4、図版19)

11点出土したガラス製品のうちガラス玉は3点、他は現代の板ガラス片や化粧瓶片である。ガラス玉のみ掲載した。1は青色のガラス玉である。前年度報告(北埋調報377)のNo6-15と酷似しており、巻き付け方式で製作されたカリ石灰ガラスの玉と思われる。2は不透明な水色系のガラス大玉で、被熱・破損している。

(新家)

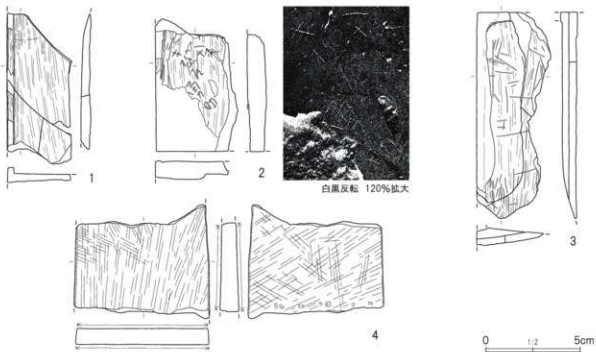
表V-14 掲載骨角貝製品一覧

掲載 No.	図 No.	図版 No.	地番	地区	遺構名	層位	分類	種名	計測値(cm, g)				取上げ日
									長さ	幅	厚さ	重量	
1	V-8	口絵4 19	17		土坑1	覆土重機	基石	ハマグリ	2.05	2.0	0.4	2.50	2024/10/28
2	V-8	口絵4 19	17		土坑2	覆土	基石	ハマグリ	2.1	2.2	0.5	3.30	2024/11/19
3	V-8	口絵4 19	17	W		Ⅲ	骨角器	不明	2.4	1.85	1.0	2.05	2024/10/22
4	V-8	口絵4 19	17	C		V	中柄	クジラ骨	(6.4)	(1.1)	0.9	3.02	2024/12/12
5	V-8	口絵4 19	17	E	人骨1	V	円環	ウシorウマ	4.1	(2.9)	1.05	3.67	2024/12/10

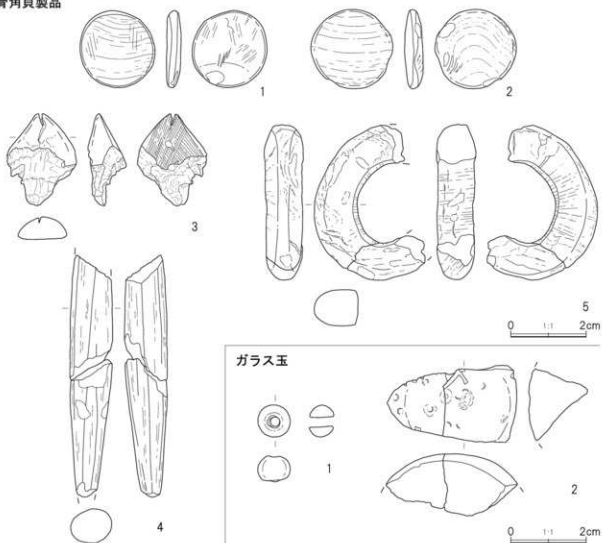
表V-15 掲載ガラス玉一覧

掲載 No.	図 No.	図版 No.	地番	地区	遺構名	層位	計測値(cm, g)				取上げ日	色調	備考
							長さ	幅	厚さ	重量			
1	V-8	口絵4 19	17	C		Ⅱ	0.85	0.85	0.7	0.6	2024/11/21	青系	完形、青色、石垣1北の内側
2	V-8	口絵4 19	17		土坑1	覆土	(2.05)	(3.45)	(1.6)	9.4	2024/10/29	水色系	被熱、破損

石製品



骨角貝製品



図V-8 石製品・骨角貝製品・ガラス玉

引用・参考文献

- 秋葉 實編・編 1999 松浦武四郎『校訂 蝦夷日誌【一編】』北海道出版企画センター
- 新垣 カ・瀬戸哲也 2005 「沖縄における14～16世紀の中国産白磁の再整理」『沖縄埋文研究 3』沖縄県立埋蔵文化財センター
- 植月 学 2018 「動物遺存体」『松前藩福山城下町の考古学的研究 1』平成29年度公益財団法人三菱財団研究助成「近世国家北方領域境界域における物資流通に関する考古学的研究」研究成果報告書
- 江戸遺跡研究会編 2001 「Ⅲ 江戸の施設と遺構 9 地下室」『図説 江戸考古学研究事典』柏書房
- 榎森 進 1982 「北海道近世史の研究—幕藩体制と蝦夷地」北方歴史文化叢書 北海道出版企画センター
- 大阪市文化財協会 1988 「大坂城跡 Ⅲ」
- 大阪市文化財協会 2009 「大坂城下町跡 Ⅱ」
- 奥野 充 2018 「白頭山古小牧(B-Tm)テフラの精密年代決定の意義」『名古屋大学 年代測定研究 2』名古屋大学宇宙地球環境研究所・年代測定研究部
- 小野正敏 1982 「15～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁研究 2』日本貿易陶磁研究会
- 上ノ国町教育委員会 2009 「史跡上ノ国館跡 IV」
- 上ノ国町教育委員会 2019 「上ノ国市街地遺跡発掘調査報告書」
- 上ノ国町教育委員会 2021 「史跡上ノ国館跡 VII」
- 木沢直子 2011 「福山城下町遺跡における木製品の樹種同定(1)・塗膜分析」『松前町福山城下町遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第290集
- 木村孝一郎 2011 「越前焼の偏年の研究と生産地の動向」『山陰地方における越前・常滑系陶器』山陰中世土器検討会九州近世陶磁器学会 2000 「九州陶磁の編年」九州近世陶磁器学会
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2024 「松前町福山城下町遺跡(2)」北埋調報377
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2012 「松前町福山城下町遺跡」北埋調報290
- 佐藤雄生 2014 「松前の海揚がり陶磁器」『弘前大学国史研究 136』47～66頁 弘前大学国史研究会
- 白神典之 1992 「堺窯跡考」『東洋陶磁 19』東洋陶磁学会
- 藤柄俊夫・森 毅 1999 「豊臣期大坂城跡における三の丸築造以前の基準資料」『研究紀要 2』大阪市文化財協会
- 関根達人 2018 「松前藩福山城下町の考古学的研究 1」平成29年度公益財団法人三菱財団研究助成「近世国家北方領域境界域における物資流通に関する考古学的研究」研究成果報告書
- 関根達人 2019 「北海道松前町福山城下町遺跡小松前町地点発掘調査報告」弘前大学人文社会科学部研究推進・評価委員会『人文社会科学論叢 第7号』
- 瀬戸哲也・仁王浩司・玉城 靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志 2007 「沖縄における貿易陶磁研究」『沖縄埋文研究 5』沖縄県立埋蔵文化財センター
- 瀬戸哲也 2015 「14・15世紀の沖縄出土中国産青磁について」『貿易陶磁研究 35』日本貿易陶磁研究会
- 瀬戸哲也 2015 「14～16世紀の沖縄出土龍泉窯系青磁における生産地の模索」『中近世陶磁器の考古学 1』雄山閣
- 田中克子 2001 「博多遺跡群出土陶磁に見る福建古陶磁」『博多研究会誌』第9号
- 東京大学埋蔵文化財調査室 1999 「東京大学構内遺跡出土陶磁器・土器の分類(1)」東京大学構内遺跡調査研究年報2別冊
- 東京大学埋蔵文化財調査室 2006 「東京大学本郷構内の遺跡 工学部14号館地点」東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書7
- 東京大学埋蔵文化財調査室 2011 「東京大学構内遺跡調査研究年報 7」
- 東京大学埋蔵文化財調査室 2012 「東京大学構内遺跡調査研究年報 8」
- 東北大学埋蔵文化財調査室 2008 「東北大学埋蔵文化財調査年報 19」第4分冊
- 中村賢太郎 2012 「福山城下町遺跡における動物遺存体同定」『松前町福山城下町遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター
- 日本ペダロロジー学会編 1997 「土壌調査ハンドブック」改訂版 博友社

- 野上建紀 2010 「海揚がりの肥前陶磁」展『金大考古 第68号』17～21頁
- 服部 郁 1994 「近世瀬戸窯における磁器生産の開始と展開」『研究紀要 第2輯』瀬戸市埋蔵文化財センター
- 兵庫埋蔵銭調査会 1996 「日本出土銭総覧」
- 平川泰彦 2000 「数種の針葉樹の仮道管における分野隙孔の形状と大きさについて」『千歳市ユカンボシC15遺跡(3)』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第146集
- 福井淳一 2012 「手掘り動物遺存体」『松前町福山城下町遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第290集
- 福井淳一 2024 「付編1～11 福山城下町遺跡出土の動物遺存体」『松前町福山城下町遺跡』(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第377集
- 藤澤良祐 1986 「瀬戸大窯発掘調査報告」『研究紀要 V』瀬戸市歴史民俗資料館
- 藤澤良祐 1987 「本業焼の研究(1)」『研究紀要 VI』瀬戸市歴史民俗資料館
- 藤澤良祐 2002 「瀬戸・美濃大窯の再検討」『研究紀要 第10輯』瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤澤良祐 2008 「中世瀬戸窯の研究」高志書院
- 藤光秀雄 2013 「寛永通寶 収集・分類・整理」文芸社
- 森 毅 1992 「16世紀後半から17世紀初頭の陶磁器」『難波宮址の研究 第九』大阪市文化財協会
- 森 毅 1995 「一六・一七世紀における陶磁器の様相とその流通」『ヒストリア 149』大阪歴史学会
- 北海道 1969 「津軽一統志 巻第十(中)」『新北海道史』第七巻史料一
- 北海道庁 1936(復刻版1991)『福山秘府』『新撰 北海道史』第五巻史料一 清文堂
- 北海道開拓記念館 1984 「松前藩主・一族書状集・II」北海道開拓記念館27
- 松前町教育委員会 2006 「福山城・福山城下町遺跡」
- 松前町教育委員会 2007 「福山城下町遺跡II」
- 松前町教育委員会 2008 「福山城下町遺跡IV」
- 松前町教育委員会 2015 「福山城下町遺跡V」
- 松前町史編集室 1974 「松前蝦夷記」『松前町史』史料編第一巻 第一印刷
- 松前町史編集室 1984 「松前町史」通説編第一巻上 ぎょうせい
- 松前町史編集室 1988 「松前町史」通説編第一巻下 ぎょうせい
- 吉岡康暢 1994 「中世須恵器の研究」吉川弘文館

写真図版





町道側調査前 北東から



道道側調査前（石垣1西面検出） 南西から
調査前

図版 2



石垣1 西面根石検出 南西から



石垣1 北面検出 北東から
石垣1



石列1 検出 北東から



石垣1北面・石列1 検出 東から



石垣1北面・石列1土層断面 東から



石列1（石垣1北面下） 検出 北東から

石垣1・石列1

図版 4



礎石 1 検出 南から



礎石 3 検出 北から



礎石 4 検出 南東から



礎石 5 検出 西から



礎石 2・6 (右) 検出 南から



礎石 7 検出 北から



礎石 8 検出 南から

礎石



炉 1 土層断面 西から



土坑 1 土層断面 北西から



土坑 3 上部西側土層断面 西から



土坑 3 上部北側土層断面 北から



土坑 3 下部 木製桁形穴蔵検出 南西から
炉 1・土坑 (1)

図版 6



土坑 3 下部 木製桁形穴藏掘方検出 南から



土坑 3 下部 木製桁形穴藏掘方土層断面 北から



土坑 3 下部 木製桁形穴藏北側土層断面 西から



土坑 3 下部 胡麻図双雀鏡出土状況 南から



土坑 4・5 (左) 土層断面 南東から



土坑 6・7 (左) 土層断面 南から



土坑 8・9 (左) 土層断面 南東から



土坑 10 土層断面 南東から



土坑 11 土層断面 北東から



土坑 12 土層断面 南東から



土坑 13 土層断面 北東から



土坑 14 土層断面 北西から



土坑 4～14 完掘 南東から
土坑 (3)